

欧州馬術レポート

週刊 Gallop 2020 年 4 月号掲載



日本中央競馬会所属

◆佐々紫苑

(さっさ・しおん)

1995年東京都生まれ。早稲田大学卒。2012年全日本ジュニアライダー総合馬術選手権優勝。15、16年全日本ヤングライダー総合馬術選手権連覇。20年4月にJRA日本中央競馬会入会。17年より日本馬術連盟アンバサダーライダー。

馬心伝心 —奮闘記part II—

佐々紫苑

Shion Sassa



毎年2月から3月にかけて、スペインでは約6週続けて国際試合が開かれます。インドアシーズンからアウトドアに向けての調整も兼ね、多くの人馬がヨーロッパ各国から集まるこの試合ですが、今年は新型コロナウイルスの影響により、途中でキャンセルとなりました。私が住んでいたオランダの厩舎からこのスペインの会場までは陸路で3日かかります。通常、陸続きの国への馬の輸送は、時間がかかっても空路は使わず、馬運車で移動。途中で地元の厩舎を借り、馬たちを休ませながら負担をかけないように旅をします。でも今回ばかりは、各国間の検疫が厳しくなり、何度も帰路を遮られてしまったようです。

予定通りに帰れたチームは運がよく、なかなか厩舎に帰れずに予定外の土地で立ち往生してしまうチームが多くありました。馬たちの休憩場所を提供してもらうため、SNS上に緊急の滞在先を求めるSOSが投稿されると、あっという間にシェアされて、立ち往生しているチームの近くの何件もの厩舎が、救済に名乗りを上げていました。馬術仲間の結束は国境を越えます。

現在、インターナショナルの馬術大会は全て中止されていますが、日本の競馬は無観客開催ながら頑張っています。どうか人も馬も無事に、この苦難を乗り越えることができまうように。

The screenshot shows a calendar-style interface for horse shows. It lists events for February, March, and April 2020. Some events are marked as 'CANCELLED' (e.g., 'BIG STAR' in March). The interface includes a search bar, filters, and a list of events with details like location and dates.

左が通常、右はキャンセルカラーのグレーに染まった大会スケジュール (本人提供)

Let's enjoy Dressage

高田茉莉亜

Maria Takada



アイリッシュアラン乗馬学校所属

◆高田茉莉亜

(たかだ・まりあ)

1994年東京都生まれ。慶應義塾大学卒。2010、11年に全日本ジュニアライダー馬場馬術選手権で史上初の4連覇を達成した。17年より日本馬術連盟アンバサダーライダー。

新型コロナウイルスの暗いニュースばかりが世間をにぎわすきょうこの頃、私の厩舎では明るい出来事がありました。元気な子馬の誕生です！ 栗毛に大サク模様（太い流星）のお顔がなんとも愛らしく、毎日厩舎に様子を見に行っては癒されています。

日本の競走馬の年間生産頭数は約7000頭。ドイツでは、その約4倍にもなる乗用馬の子馬が誕生しています。ドイツ馬術連盟のホームページを見ると、2019年の乗用馬の子馬の登録数は何と約2万6000頭！ その他にも、小さな子供の乗用馬として活躍するポニーの子馬だけで8000頭以上も生産されているのだとか。いかにドイツで乗馬が盛んなのか、よく分かる数字ですね。いざ調べてみると想像以上に頭数が多く、私も驚きました（笑）。

日本の競走馬の生産の中心は北海道ですが、ドイツでは全土にわたって乗用馬の生産が行われています。厩舎の形態はさまざまで、生産のみ行っている厩舎もあれば、乗用馬や競技馬を育成する傍らで生産している厩舎もあります。私の厩舎ではあと2頭の子馬が生まれる予定なので、これから楽しみです！



人懐っこい子馬の牡馬。良血なので、将来が楽しみです！（本人提供）